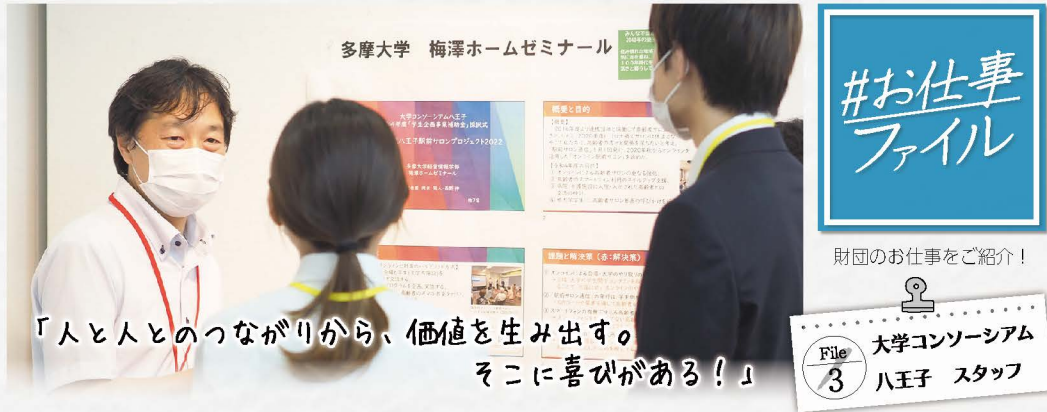




学園都市振興課・大学コンソーシアム八王子では、市民の方々が学べる機会の提供、『学生天国』など学生の企画するイベントのサポート、大学教員・職員同士の交流・情報交換の場づくりなど大学のある街ならではの様々なイベントを企画・制作しています。25もの大学をもつ八王子の特性を活かし、大学・市民・経済団体・企業・行政などそれぞれ独立した組織を繋いで共同で参加できるイベントや事業を企画することで、新しい価値を生み出すことを目指しています。

インタビューしました！

「八王子ならではの学園都市づくりとは？」

世界中でも、八王子のような学園都市は実は少ないんです。学園都市とは大学を中心として発展した都市のことを指しますが、八王子は既に形成されていた市街地と、徐々に増えていった大学とを結んでいく中で生まれた学園都市です。大学が増えていったのは40年程前。さほど昔ではないのですが、それにもかかわらず市民の方々が学生たちの活動に協力的で、とても理解があるなというのを実感しています。これからも、学生たちが自主的に考え、活動してくれるよう支援して、より魅力的な八王子をつくっていききたいと思っています。(大学コンソーシアム八王子スタッフ)

ララララ
voice

財団主催公演の
来場者アンケートから、
感想をご紹介します。

5/28(土)『和～ど・ミュージック祭り!!』
いちようホール 大ホール
エネルギーがすごい!元気をもらいました。東北のこと、コロナのこと、今起きている戦争のこと…いろいろ考えた。歌と演奏で変わっていきけるんじゃないかって信じられた。

6/11(土) ステップアップコンサート
いちようホール 小ホール
それぞれにテーマのある演奏でまとまりがありとてもよい企画だと思いました。こういう企画でステップアップを図りコンサートができることは、素晴らしいと思います。今後も楽しみです。



本誌「ララララ
MAGAZINE」への
感想、ご意見も募集
しています！

はちびと

八王子の文化を支える
まちの人々をご紹介します！



八王子文化連盟 事務局長 武居辰幸さん

加盟31団体・会員4,000人余を擁し、八王子の文化振興のために活動続ける八王子文化連盟。そんな文化連盟に現れた若き新星、武居辰幸さん(現・八王子文化連盟事務局長)にお話を伺いました！

●八王子文化連盟に関わるようになった経緯を教えてください！
若いこと、パソコンが使えることが理由でリクルートされました(笑)
不思議な縁で、実は父方の祖父が八王子文化連盟の創設者で。また、家族が加盟団体の書道連盟に関わっていて、僕自身も所属していたことがあるんです。
現在は、文化連盟の事務局長と『八王子香の会』の副会長を務めています。
●事務局長に就任してから、新しく挑戦したことはありますか？
まずはホームページをリニューアルしました。和風の文様を使いつつ、新しさのあるイメージになるように意識しました。SNS、YouTubeデビューもしましたよ。市民文化祭の動画もアップしています。
●八王子の文化芸術への想い、文化連盟が目指すものは？
まずは、学園都市の特性を活かして大学とコラボするなど、全世代と一緒に

なって活動する団体を目指したいですね。中学生絵画展では市内の学校から絵を募集していますが、出品者が芸術系の大学に進学したこともあります。夢は市内の全学校からの作品を集めた『絵画甲子園』です…！
●コロナ禍でも毎年、八王子市民文化祭を実施していますね。
練習や準備ができない状況でしたが、高齢の方が多い団体で文化祭を開催できた他団体のロールモデルになれるのでは…と。コロナ対策について勉強し、独自のガイドラインを設定しました。無事にできた達成感は大きいですね。「久しぶりに外へ出て、人と話す機会ができた」と喜んでいただけたのは収穫です。
●加盟団体の晴れ舞台でもある八王子市民文化祭、今年の見どころは？
今年は、ようやく活動を再開した団体にとっては久しぶりの発表の場、交流の場となります。3年分が凝縮された文化祭に、ぜひ来ていただければ嬉しいです。

第72回八王子市民文化祭 ～文化の薫り高いまち 八王子～ 10/2(日)～11/27(日)

- 第44回 音楽芸術フェスティバル 10/2(日) J:COM ホール八王子
- 第28回 市民美術工芸展 11/10(木)～13(日) いちようホール 第1・2 展示室
- 第12回 八王子中学生絵画展 11/24(木)～27(日) 学園都市センター11F ギャラリーホール1・2



全29団体が参加予定！
ぜひ足をお運びください！
詳しくは右の2次元コード
からホームページへ！



八王子市
夢美術館
EXHIBITION

デミタスカップの愉しみ 9/17(土)～11/27(日)

濃いめのコーヒーを飲むためのデミタスカップは、19世紀ヨーロッパにおいてテーブルウェアの発展、コーヒー文化の浸透などを背景に数多く生み出されました。またジャポニズム、その影響を受けたアール・ヌーヴォー、つづくアール・デコといったデザインの潮流に乗り、そのバリエーションはさらに無限大にまで広がっていきました。本展では19世紀～20世紀に欧州の名窯が生んだ質の高いデミタスをはじめ、創造性の輝く逸品を村上和美氏のコレクションを中心に参考資料も含め、約380点ご紹介します。本コレクションならではの個性豊かなデミタスの魅力をぜひご堪能ください。

10:00～19:00(ただし、入館は18:30まで)
※月曜休館(休日の場合は開館し、翌平日が休館)
【料金】一般 900円 学生、65歳以上 450円
※中学生以下無料
※ラトラ友の会会員は2割引



(公財)八王子市
学園都市文化
ふれあい財団
設立20周年記念

① アダレイ《金彩薔薇図カップ&ソーサー》1886～1905年 ② カミーユ・ノド《ブリカジュール草花文カップ&ソーサー》1900年頃 ③ ロイヤルウースター《金彩ジュエル透かし彫りカップ&ソーサー》1880年頃 ④ ゴールポート《金プラチナ彩菊花文カップ&ソーサー》1881～1890年 ⑤ シャルル・アーレンフェルト《金彩花鳥文カップ&ソーサー》1894～1930年代 ⑥ マイセン《貼り付け花鳥とスノーボール蓋付きカップ&ソーサー》1860～1880年 ⑦ ロイヤルパイロイト《「キャベツとロブスター」カップ&ソーサー、ミルクビッチャー》1902-1920年代 ⑧ 錦光山《京薩摩金彩龍文カップ&ソーサー》1800年代後期 ⑨ ビルケンハンマー《金彩花鳥文角形カップ&ソーサー》1887～1918年

みどころ

デミタスの装飾はカップの外側だけとは限りません。濃い褐色のコーヒーを注ぐため、通常カップの内側は鑑賞の対象となりにくく、白地のままが金一色であることが多くみられます。しかしコーヒーを飲み干すと、美しい絵柄が現れてくるデミタスも。このようなデミタスは、真上から見たときにソーサーとカップの絵が一体になるように構成されています。「上から覗く」という風変わった趣向で作られたデミタス。会場では特注の展示台をご用意して、覗いて愉しむデミタスもご覧いただけます。外側の美しさだけでなく、内側の美しさにも触れてお気に入りの一客を見つけてみてください。

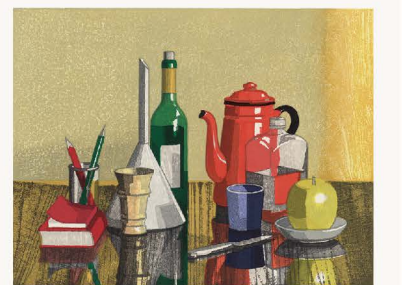
ロイヤルウースター 1922年



連載
夢美術館
収蔵品
のおはなし
八王子市夢美術館の収蔵作品をご紹介します。

城所 祥《静物'87》

城所祥は1934年に八王子市に生まれた木版画家です。10代から木版画に親しみましたが、家業を継ぐため早稲田大学商学部に進学します。しかし、大学卒業後は自分の進む道を版画家と定め、1959年、25歳の年に日本版画協会展に出品、個展も開催し版画家としてデビューします。城所が大学を卒業した1950年代は、棟方志功をはじめ多くの日本人版画家が国際的に活躍した時期でもありました。日和崎尊夫、柄澤 齊らと「鑿の会」を結成するなど現代版画史に足跡を残します。《静物'87》は後年、城所が取り組んだ静物画の秀作です。この作品を制作した翌年、突然の死によって彼の画業は中断しましたが、当館では、その生涯にわたる約600点の作品を所蔵しています。



城所 祥《静物'87》
板目木版 40×55cm 1987年

【八王子市夢美術館に関するお問合せ】
八王子市夢美術館(八王子市八日町8-1 ビュータワー八王子2F) TEL:042-621-6777 FAX:042-621-6776 【ホームページ】https://www.yumebi.com